

海峽南洋叢書

~~B  
149~~

逍遙文庫  
文庫6  
1605





ゆめくは想像くをえ母は最志事  
し来尔遍其の撰ある出とも得  
是彼は其の免が角やとゆしき  
をその何事か 祝た人 換尔推する  
志其子度の憶事とては死姫と  
す種 花尔或は庫より丹國は見え出  
半利や飲ある行まの代 雜著  
りやはあかき孫や字知國子 保元  
以後の雜草をばを死尔託しを寧  
ゆめくは 娘子河ぬの志は為す  
六くおよめをきり同さおれとを  
梓尔彫る母は弘小春の心あかき  
成る半あり 友あやちちあけし  
まき けり ちちをよまき 又抄  
筆 花やちち

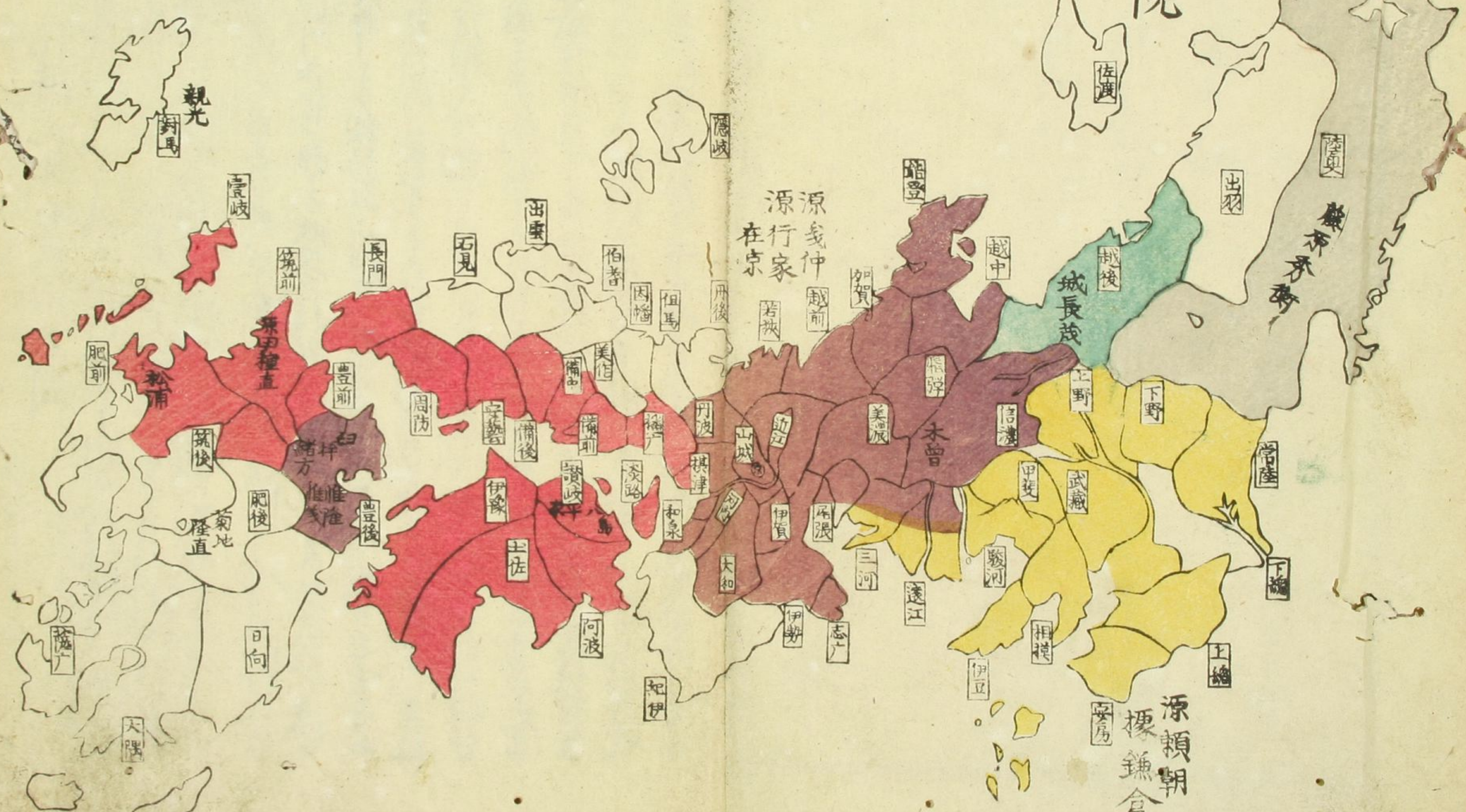
玉置書



新刊

# 元曆元年公武沿革圖

後鳥羽院



源氏仲行  
源氏仲行  
在京

源賴朝  
源賴朝  
鎌倉



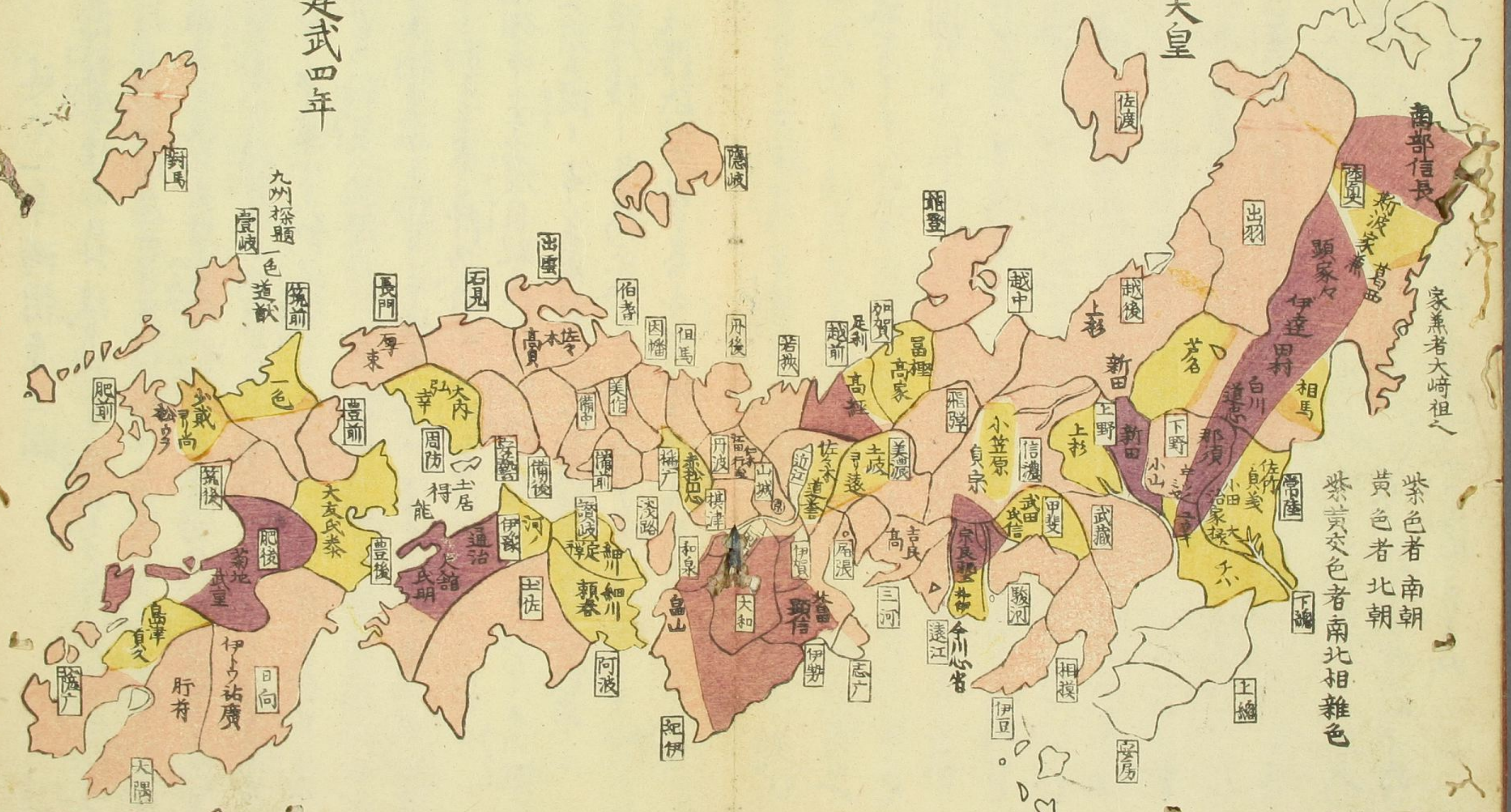




# 延元二年兩朝並立圖

北朝  
光明院建武四年

南朝  
後醍醐天皇



紫色者南朝  
黄色者北朝  
紫黄交色者南北相雜色

南部信長  
家兼者大崎祖之

鮮朝

夷墩















# 應仁元年東晉千戈圖

後土御門院

夷蝦

此曰備後  
討平於城  
夫弥崎崎氏



▲奥羽之地各據交混故皆不加彩色也以下准之

下總關東青色者成八方  
古河足利氏  
紫黑者上杉氏

尾張越前  
兩斯波  
美濃  
河內紀伊  
西島山  
政長  
美濃  
河內  
伊勢  
知泉  
細川  
兩守護  
細川  
持久  
政有

淡路  
細川成素  
伊豫  
兩河堅  
通直  
通春  
備中  
細川勝久

日向  
伊東  
肥後  
重朝  
肥前  
肥後  
大内親家  
大内

日向  
伊東  
肥後  
重朝  
肥前  
肥後  
大内親家  
大内







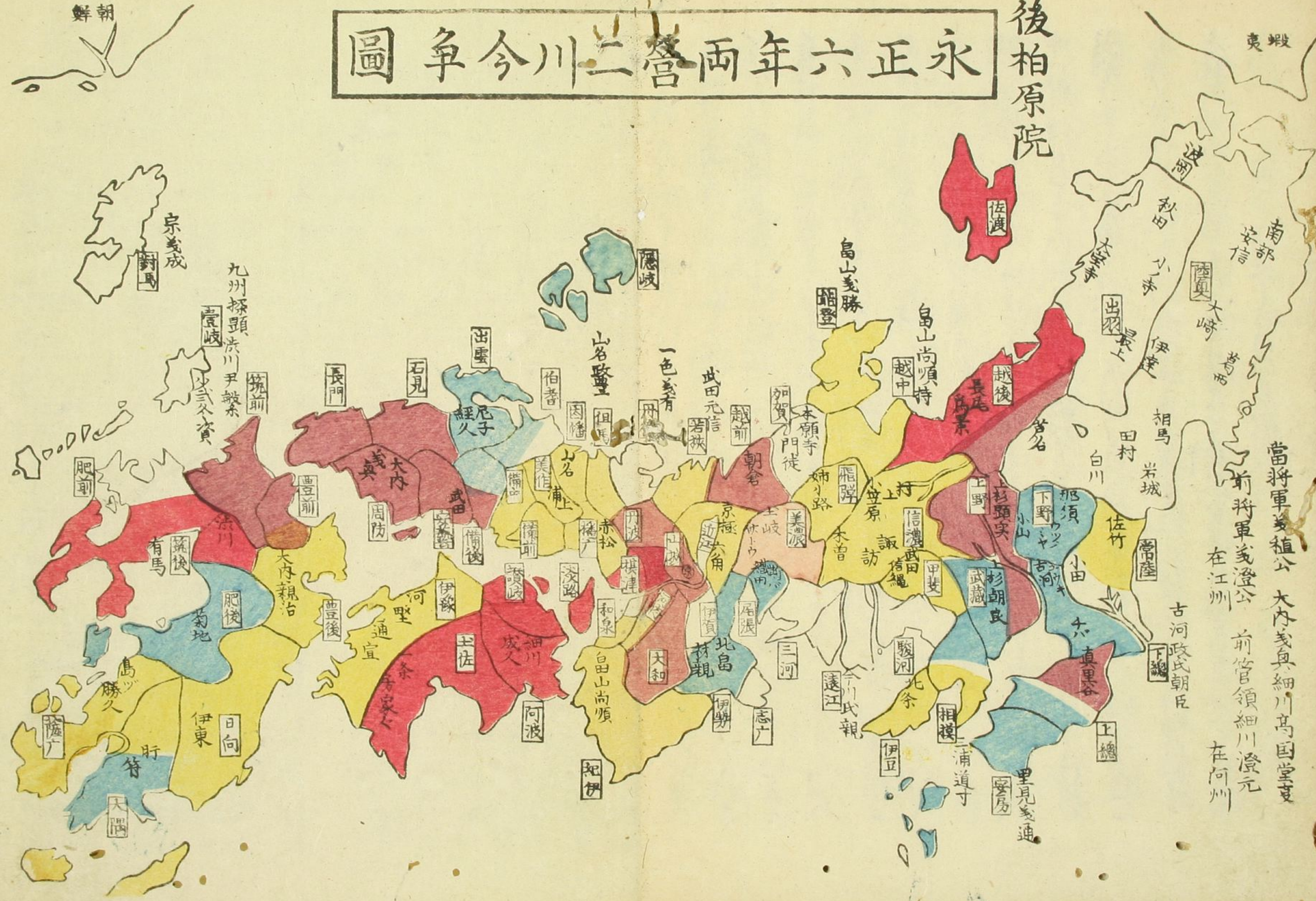


鮮朝

# 永正六年兩營二川今爭圖

後柏原院

夷蝦



當將軍美植公 大内美貞細川高国堂夏  
 前將軍美澄公 前管領細川澄元  
 在江州  
 古河政氏朝臣  
 在河州











弘治五年列國割據圖

系於隆礼よりして將軍時公これと成り多々いひ及朽木也  
○天文三年細川晴元三好長義入道所をとりす○同七年小  
條氏徳氏康父子ト徳正五府基と利長敗入局（此の二男  
は徳正の弟也）也合戦なり小條勝利と云く天明付  
記を是より氏徳の威武をより振ひ○同十年又相立す氏  
康嗣ひくつゝもこれと成む○同十一年長尾為系獄中に入る  
級死也○同十四年時公將軍職を世子成房よりとり改む  
細川晴元三好長義と戦ひ勝敗一縁者の六角友成が  
すけと使とす○同十六年春友成三男成房を継ぐ友成の  
追ふる義徳とす○同十九年春將軍時公及びて飛元同正率  
洵時とて大内義隆の孫と戦ふ大友義法の子長と連合して  
権柄と忠とを全毒とす○大友義法犯後と定む○上杉の政（此の  
政は長尾の  
子也）

成康と戦ひ叛後より長尾系乱し併し後を承継とす○今年  
弘治二年將軍時公の死あり○陶全妻大和と年々ありあはれ毛利  
元就と付殿所と後と戦ひ大和級して自殺と元就嫡子隆元次男  
小車川隆元三男吉川元春と勇略あり其後より至玉風と至る  
隆元と連ひて国防長口、改入が大内義長防梁の策とす  
自滅す毛利元就より元就久（此の久は隆元の子也）と地をとりて戦ひ止む○同  
三年春輝元三好と和議とのひ系於るなり一袋内南河の捷と  
とれり○元就を承継中後と時○同三年今川義元兵威  
つゝ後堂二の軍と平ひく尾及とせむ織田信長防が戦ふ義元  
捕殺して討死す是より信長の武名をこれかんとす  
○毛利大友と争ふ最對戦也○上杉系乱大率して小條と上及び  
氏及入昭三年の妻小田東とせむ國東の法候とす  
兵と勢と敵とついでり

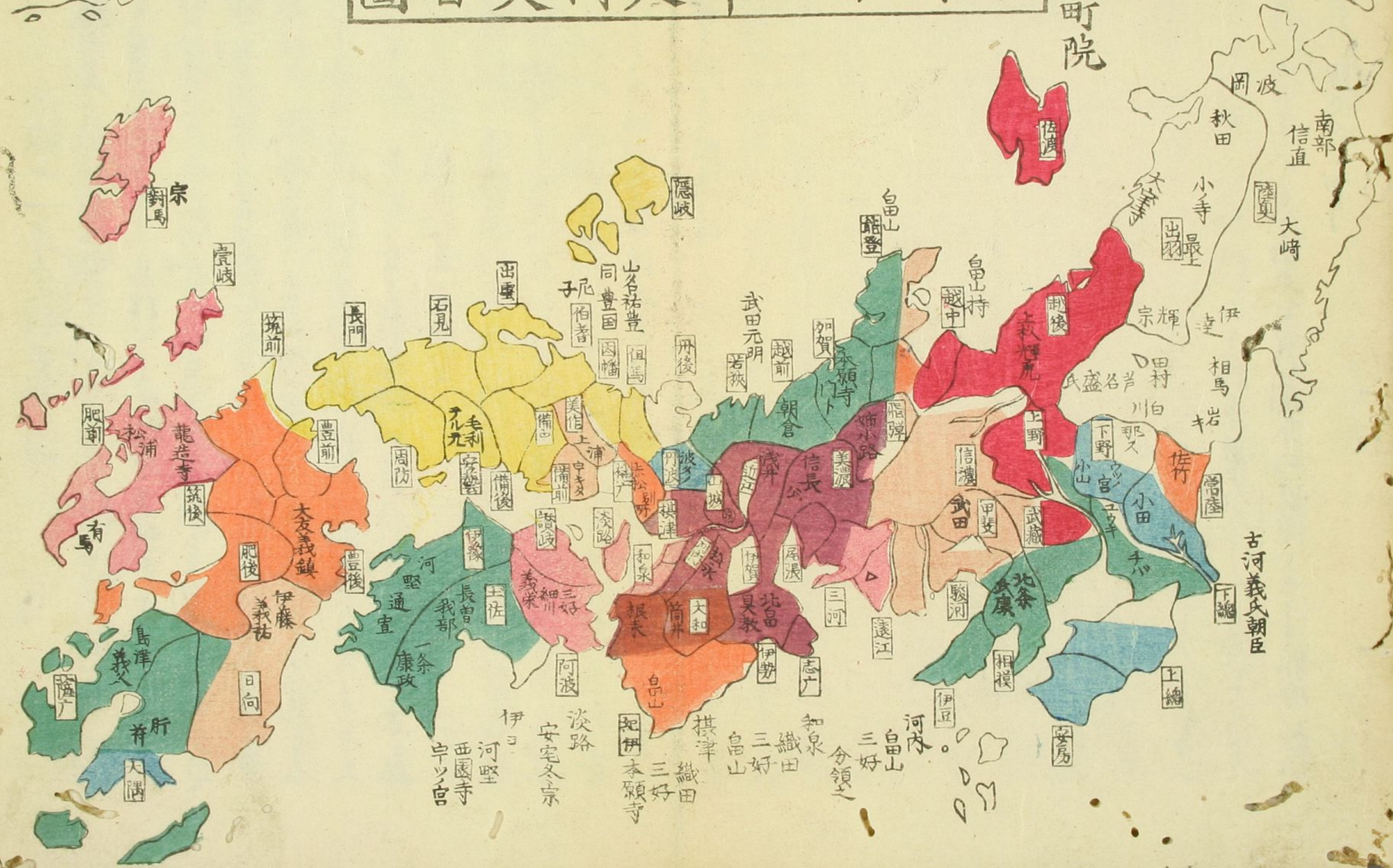


鮮朝

# 永祿十一年足利更替圖

正親町院

夷城  
十少坊



古河義氏朝臣





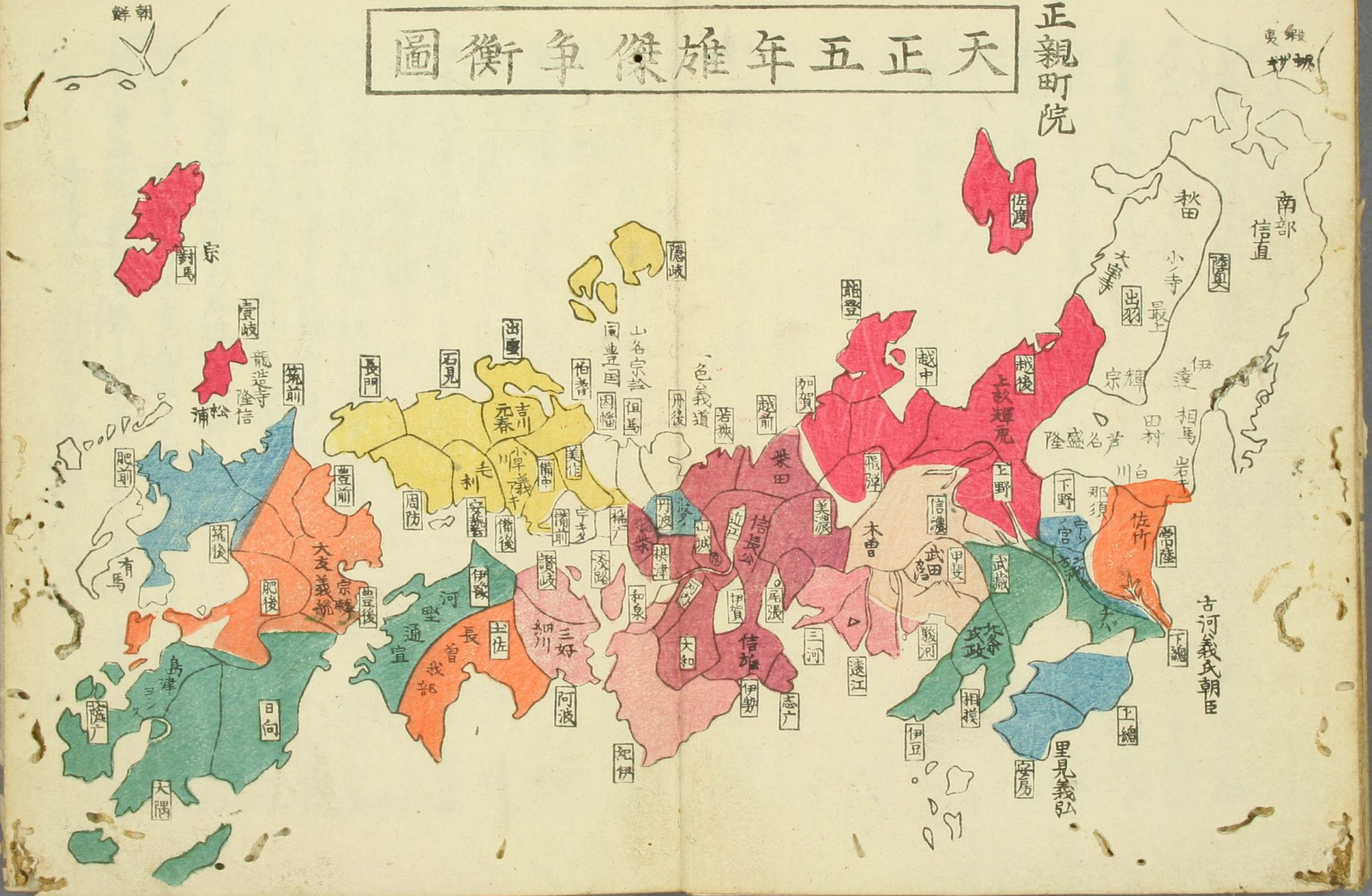


鮮朝

# 天正五年英雄爭衡圖

正親町院

東蝦夷地



古河義氏朝臣

上野

越後

越中

越前

加賀

美濃

尾張

三河

駿河

甲斐

武藏

相模

上野

下野

常陸

佐竹

古河義氏朝臣

肥前

肥後



天正五年雄傑争衡圖

將軍義昭脚に控勢悉く備長ありて其制するをと欲く  
憤りて八正之奉石山古城壘と據りて拵勢を備長が士に  
つらうと責破る義昭脚紀州に退走す日四月武田信玄  
勝りて其處をめぐり○信長に北越前を伐りて胡余系系津井を攻  
むとて○吉川元春因幡伯耆を攻む西山名毛利に倭入○日二年  
輝胤入道信越中討入社堂と取る○日二年義昭脚中堂  
列り毛利と復む輝胤を討り京師に護送の兵を僅と○日  
四年信長沈州信皇より州安去の城に移る其後世田部勝家  
命して小園を討りて羽柴秀吉に播磨を山陽と取らむ  
今歲天正五年春多志赤浦と宗系と合戦す小早川守春多を  
助けし満と破り秀作ととるこれより後直家ひそに羽柴を  
○日向の伴為義に秋津津薩州の領地を奪取りて

戦ひぬりて其後去り大友に倚る○日六年三月と拵僅信越中を  
養子景胤の子孫に承継す其後信越の外甥造とて互ひ合戦す武田  
勝りて加勢して系胤自殺す○信長細川後春令して三邑を伐  
丹後と略らむ○秀吉播州を移りて尾子勝久より上月の城を攻む  
隆系之妻大塚を討りてこれと再び信長相討りて其後援とて  
其後向つて地理便ありとてより軍と起る勝久御子に自殺  
山中を奪取りて途中に討る○大友義統信長入の爲薩州を攻  
て敗績すこれより九州のうち大友は少くありの多し○長久保  
初之親阿波讃岐を助す三好存保防戦して利あり○羽柴毛  
利と但馬因幡を討つ○勝頼と州中を法して小糸方と信城と臨す  
○肥前の新造吉隆信長に頼りて西筑北を攻め大友は海と  
鼎足の勢ひふと○日七年信長光秀命して丹波を攻らしむ  
波多の秀治亡ふ○日八年春多志赤浦を







今歳二月信長武田に伐信忠を先遣り奔向りて養の儀  
の儀城を下し進令甲州を攻め勝り敗走一夫同山戦死を  
日三月信長も脱れ別着り川益切を賞しと雖一兵  
信州依久那ホとあり東の法守と統領せむ甲信後を  
口及の地も又各領ち授く○武田勝家森長と送とて核  
と伐ち畧務と信濃城中を合戦と○日四月羽柴秀吉使中  
攻入毛利と對峙して援と安去とふりて惟任光秀比田位  
輝ホとほうり助しめ又三七府信孝三郎又丹羽長秀ホと秀信  
四國の長曾我部と討し信長も續くや陣のさめ京師  
日六月二日の曙光秀吉進して信長をの籠城亦能とて就むて  
これと戦と信忠の妙算もつりし二條於て戦死しあふ  
け多るとゆく法皇大に擾亂と

愛小羽は秀吉の毛利と使中討陣せし和漢とを掃州より  
信孝長秀并中川清秀高山去房の兵と令し山守と  
惟任と合戦とて秀吉大に敗して小栗栖もまが農兵のあつり  
是より秀吉の威名ををりて○信忠死し信長も羽柴部  
と攻り信忠を侵す小笠原貞慶は本宿義昌と逃ひ信長に  
本領を取返し○秀吉は信忠の初息三法師九郎を討てて  
副将とて兵糧を授け○日十一月信孝勝家尾法城を攻めて  
秀吉と信の皆を討つて亡小羽は本宿義昌の強大に秀吉が  
前田利家の雄略すれどもぬく小洲の信長と○日十二月羽柴秀吉  
と信忠を入法城を下して尾法は向ふ信忠が力微りて防ぎ  
援兵と強きを信ひて孤弱と憐れ給ひて救ひし日  
月秀吉尾州を轉して冬及て侵し小牧長久を攻めく大に  
信と及後和睦とのひも信忠の死







天正十四年豊臣征遠圖

去ぬる天正十二年龍造寺隆信は日小瀨原の有馬晴純入道  
仙雲と改々より小瀨州より援多ありしが隆信不意に戦死を  
以て隆信の兵勢つゞく強く且久の今才多統南勢絶倫  
して向ふ所破らざるに因り大友の一族立花鑑連入道統く兵を  
用ゆる有る世にありし故軍を後、及不才又隆信没後  
其子政家嗣ぐ龍造寺臣民つゞく武略と通じし領地と保てり○  
今歳秋野多弘犯後より後、此宰府よりお合秋月移実も  
これより大友多統統援軍と京師、信今又於、西海の  
族あり山陽有海の軍馬より、先達より後向せむ日十二月島  
津勢を後、私入る多統を、退く○然る久隆造寺の兵犯  
後、改命小川本の法軍脱を、後、海せり多統、公令して軍とすむ  
○天正十五年の東國白秀吉と陣あり大軍の到る所武へやあり  
赤松が進んく薩州より入合戦なり、むく、後、後、  
九月は平均と○日十六年犯後、平橋の、むく、依り、成政、後、  
伏し、其領地と加、後、長、小西行長、援て○日十七年、豊、刀、次、の、修、遠、  
政宗、今、津、の、戸、名、多、廣、と、逐、く、其、地、と、併、せ、氏、威、本、州、は、あ、り、  
常陸の依り、多、重、立、馬、強、く、北、条、信、遠、と、後、と、多、く、出、羽、の、景、上、  
多、光、も、又、一、方、の、雄、と、稱、と、○日十八年、豊、吉、は、関、白、小、條、氏、と、伏、つ、氏、  
政、遂、に、滅、亡、し、其、羽、は、あ、り、色、志、心、く、平、治、せ、り

文禄元年三月より朝鮮征伐の師起りて八道の州縣大  
半陥り其地を李昭と名く出まを、其、後、も、進、ん、く、必、  
と討伐せんとして、此朴宗率其兵、此邢銘率其兵、此如松、此亦、  
大軍と督し、此朝鮮と援け、此防戦と統し、此長三年分  
豊吉、此太、閣、薨、去、り、此一、は、法、治、の、敵、陣、と



# 鎌倉英勇鑑

## 御系圖

人皇五十六代  
清和天皇

貞純親王

經基 正四位上鎮守府將軍  
号六孫王

滿仲 從四位左馬頭  
号多田

賴信 從四位上河内守  
鎮守府將軍

義家 正四位上陸奥守  
鎮守府將軍八幡太郎

爲義 從四位下左門尉  
号六条判官

義朝 從四位下左馬頭

義平 惡源太

朝長 從五位下中官進

賴朝 正二位大納言右大將  
征夷大將軍

範賴 蒲冠者

義經 從五位下伊与守

賴家 從二位左門督  
征夷大將軍

実朝 正二位右大臣  
征夷大將軍

十萬石	北条遠江守時政	十萬石	白山二郎重忠	十萬石	河野四郎道信	十萬石	和田九工門美盛	十萬石	梶原平三景時	十萬石	千葉元助常胤	十萬石	熊谷治郎直実	十萬石	陸奥守	十萬石	仁田四郎忠常	十萬石	愛甲三郎季重	十萬石	金子十郎家忠	十萬石	浅利与一美遠	十萬石	佐々木太郎定綱	十萬石	佐々木二郎經高	十萬石	佐々木三郎盛綱	十萬石	佐々木四郎高綱	十萬石	江間小四郎美時	十萬石	武田太郎信美
-----	---------	-----	--------	-----	--------	-----	---------	-----	--------	-----	--------	-----	--------	-----	-----	-----	--------	-----	--------	-----	--------	-----	--------	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	--------



武藏 足立藤九郎盛長	三万石 猪俣小平六則次	佐万石 笠原四郎先正	十萬石 那須与一宗高	三万石 伊勢加藤二景廉	下万石 就鳥尾三郎經晴	上萬石 鈴木三郎經正	安房 江田源三盛俊	赤松 御所五郎冬保	赤松 加々見二郎長清	押入 一条二郎忠頼	赤松 岡部六郎太忠澄	赤松 三浦荒二郎美澄	赤松 因幡守大左廣元	赤松 岡崎四郎美実	赤松 平山武者所季重	赤松 梶原源太景季	赤松 黒井太郎經清	赤松 田代冠者信美	赤松 逸見冠者美清	赤松 佐竹冠者美親	
同	同	同	同	美經臣	三万石	武藏	武藏	武藏	赤松	赤松	赤松	赤松	赤松	赤松	赤松	赤松	赤松	赤松	赤松	赤松	
武藏 防辨度	駿河治郎經清	伊勢三郎美盛	片岡八郎經俊	龜井六郎重清	横山右馬允晴道	比企判官美員	石田判官爲久	朝比奈三郎美秀	海老名源八兵衛弘綱	狩野久助持亮	指毛三郎成	中村入道合斎	秋田城之助晴近	澁谷土佐入道正俊	古郡新九郎保忠	土屋兵衛美清	海野小太郎行氏	齋院次官近美	富樫久助成清	尾形三郎維美	真田与一美貞







國高改 足利勇士鑑

惣大将 足利九兵衛督尊氏

嫡子 足利九馬伏義詮

弟 足利九馬頭真義

御一門衆

尾張 足利尾張守高經

陸奥 足利或部大輔家兼

新波治部大輔美將

尾張 斯波九京大夫氏經

丹波 仁木九京大夫頼章

伊勢 仁木右京大夫美長

後波 細川讚岐守頼春

八万石 細川武藏守頼之

六万石 細川相摸守清氏

七万石 細川阿波守和氏

諸御大名衆

佐々木判官氏頼

佐々木佐渡入道道善

佐々木九門尉頭綱

佐々木近江守秀綱

千葉公貞胤

千葉新公胤

佐竹上総公貞美

佐竹九馬頭美敦

薬師寺二郎公義

中祿備前守秀長

波夢野上野公宣通

宇佐美三郎祐氏

三浦之介高明



二万石 三万石 四万石 五万石 六万石 七万石 八万石 九万石 十万石 十一万石 十二万石 十三万石 十四万石 十五万石 十六万石 十七万石 十八万石 十九万石 二十万石

細川陸奥守顯氏  
細川淡路守師氏  
細川郷律師定綱  
細川式部大輔繁氏  
畠山右衛門督基國  
畠山阿波入道道哲  
畠山修理大夫國氏  
畠山左近將監濃氏  
荒川遠守頼直  
荒川三河守詮頼  
吉良左京大夫満美  
吉良修理大夫負家  
吉良左兵衛佐満貞  
吉良中務大輔満家  
今川上総介國範  
今川伊豫守貞世

二万石 三万石 四万石 五万石 六万石 七万石 八万石 九万石 十万石 十一万石 十二万石 十三万石 十四万石 十五万石 十六万石 十七万石 十八万石 十九万石 二十万石

狩野介義次  
土岐大膳大夫頼康  
二階堂出羽守行通  
武田甲斐守信武  
武田伊豆守氏信  
太田周防推弘世  
小笠原信濃守貞宗  
村田周防守美安  
木曾左馬頭美行  
上杉民部大輔憲顯  
上杉弾正少弼朝房  
高武藏守師直  
高越後守師泰  
高土佐守師親  
高駿河守師美  
嶋津左衛門督貞久



一萬石 今川右衛門佐仲秋

又石 島津陸奥守氏久

一萬石 今川治部大輔範氏

三萬石 塩治判官高貞

一萬石 山名伊豆守時氏

二萬石 澁川刑部大夫義季

三萬石 山名彈正捕師氏

二萬石 澁川中務少輔直頼

二萬石 里見民部少輔美宗

二萬石 石堂右馬頭頼房

二萬石 一色修理大夫範光

一萬石 上野左京大夫詮兼

二萬石 一色左京大夫詮範

二萬石 大館左馬介幸氏

諸御大名衆

十萬石 赤松入道圓心

八萬石 大友修理大夫義泰

二萬石 赤松信濃守範資

一萬石 毛利備中守師親

三萬石 赤松筑前守貞範

二萬石 毛利中務少輔廣房

二萬石 赤松律師則祐

三萬石 完戶安藝守朝重

二萬石 宇都宮洛部大輔公綱

三萬石 小早川又二郎次平

二萬石 宇都宮下野守氏綱

一萬石 伊東大和守祐成

二萬石 小田常陸介時知

一萬石 松浦肥前守昌栄

二萬石 小田筑後守貞知

三萬石 大宰少貳頼房



御實父木下彌重門御養父同朋筑阿弥御母持秋中納言御娘天文五年  
丙申正月元日於尾州愛知郡中之中村御誕生御母夢日輪入懷中有妊故  
幼名稱日吉九十六歲赴遠江國初任松下加兵主尉永祿元年任織田信長末  
下藤吉郎後改為羽柴筑前守天正十年十月叙從四位下任右少將同十一年任參

豐臣秀吉公

秀長

大和納言初小七郎  
美濃守

女子

武藏守三位法印一路室秀次母  
一路初弥介秀次弟白小吉尾州  
海部郡人号岐阜少將

女子

南明院殿

秀俊

大納言  
實三位法印子

女子

森美作守室

女子

毛利甲斐守室

秀次

關白內大臣初為三好山城守養子故  
号三好孫七郎實三位法印子太閤養子  
筑前中納言實木下肥後守家定子初号  
金吾為太閤養子定家者太閤北之方  
之御兄也

秀秋

早世

棄君

右大臣從二位

秀賴

元禄元年五月卒

議叙從三位同十二年十月

納言任從二位同十三年三月任正三

位內大臣同年七月十一日任關白

同十四年十二月任太政大臣自改

豐臣姓同十九年讓關白職從此

以太閤被稱慶長三年八月十日

薨於伏見城御歲六十三奉葬

洛東阿弥陀峯謚豐國大明神

居城攝州東成郡大坂

御別館 京都

御下館 山城伏見

北政所高臺院殿於金方

御父 藤井又右三門

御簾中三條殿

同 蒲生飛彈守

御用達松丸殿

同 京極長門守

御妾方加賀殿

同 前田加賀守

御傍寐淀殿

同 淺井備前守



御寮門

大和 大納言秀長  
 近江 中納言秀次  
 尾張 内大臣信雄  
 美濃 中納言秀信  
 伊賀 中納言秀定  
 丹波 宰相秀勝  
 越前 中納言秀康

五奉行

增田右衛門尉長盛  
 石田治部少輔三成  
 大谷刑部少輔吉高  
 前田 普院法印  
 長東大藏大輔正家

七手組

伊東丹後守長實  
 青木民部少輔一重  
 早水甲斐守時雪  
 野々村伊豫守雅春  
 堀田図書之助勝嘉  
 中嶋式部少輔氏種  
 貞野豊後守賴包

外様面々

嶋津兵庫頭義弘  
 小川筑前守秀秋

五大老

前田大納言利家  
 毛利中納言輝元  
 浮田中納言秀家  
 上杉中納言景勝

中老

淺野彈正大弼長政  
 中村式部大輔一氏  
 生駒雅樂頭親正  
 堀尾帶刀先生吉晴

賤ヶ嶽七本鎗

加藤主計頭清正  
 片桐東三郎元元  
 福島左衛門大夫正則  
 加藤左馬介嘉明  
 服坂中務大輔安治  
 平野遠江守長康  
 粕屋内膳正宗重

御譜代面々

蒲生飛騨守氏郷  
 藤堂佐渡守高虎  
 蜂須賀阿波守家正  
 仙石越前守秀久  
 池田三左衛門尉輝政  
 丹羽五郎左衛門長



七セシカカ 三十万石	スホウ若クニ 十萬石	千々柳川 十萬石	セツシツ三田 三萬五千石	バゴ竹田 十二萬石	又々火マ 十萬石	シシ高トヲ 五萬石	タシマ少シ 三萬石	ヒク水戸 八萬石	シモケナス 六萬石	デハキタ 十五萬石	オウシウ仙イ 同弘キキ 五萬石	トサ高ナ 十五萬石	ヒセシカカ 八萬石	同ヒラト 六萬石	イカ上ノ 十八萬石	イヨ西条 三萬五千石	石シウウツ 四萬石	ハウキ南条 廿萬石	ヤシウウシヤ 七萬石	オウシウ中ムラ 六萬石	デハ山カク 廿萬石	オウシウモリヲカ 十萬石	
銅嶋加賀守直茂	吉川藏人頭廣家	立花左近將監宗茂	有馬中務大輔則頼	大友豊後守義統	京極若狹守高次	日根野備中守高吉	前野但馬守長泰	佐竹右京大夫義宣	那須遠江守資泰	秋田城之介實季	伊達陸奥守政宗	津輕石京大夫為信	長曾我部土佐守元親	寺澤志摩守廣高	松浦肥前守鎮任	筒井伊賀守貞次	一柳監物直盛	亀井武藏守茲矩	南條中務少輔忠成	宇都宮治部少輔貞綱	相馬彈正忠昌胤	冨上出羽守義光	南部大膳大夫信直
セシウ三ホ 七萬石	三シウ西ラ 十萬石	平セ東江 十萬石	ヨシウ大ズ 十萬石	シシウ松本 五萬石	平古ムニ 五萬石	タシマ竹田 四萬石	三ホシ大ノ 三萬石	ノウシウウラ 三萬石	カシウ大セウシ 三萬石	チクコルン 三萬五千石	セイシウカキ 三萬石	エシウ多寺 二萬二千石	日向ミヤサキ 五萬石	房シウ幸 四萬石	マシウヤ 四萬石	三シウカリヤ 二萬石	イヨ 七萬石	カシウ中ツ 十七萬石	ヒゴウド 廿五萬石	甲シウ中 十五萬石	山シウヨド 七萬石	エシウカク 五萬石	平シウ俊 三十萬石
中川修理大夫秀正	田中兵部少輔吉政	蜂谷出羽守頼高	戸田民部少輔義俊	石川伯耆守教正	村上周防守義明	栗山相摸守一晴	大野修理亮治長	市橋下總守長勝	山口玄蕃頭正弘	久留米藤四郎秀包	羽柴下總守勝雄	松下右兵衛佐吉綱	高橋右近將監元種	里見安房守忠義	佐野修理大夫政綱	水野下野守信包	小川土佐守祐忠	黒田甲斐守長政	小西攝津守行長	加藤遠江守光康	木村常陸介重隆	山内對馬守一豊	堀左衛門尉秀正



宗對馬守義智  
五方石

御籙本衆

志ノウト六  
四万石  
常ノウ下マ  
六万石  
下ノウ鳥山  
三万石  
相ノウ子ナリ  
二万石  
平ノウ東江  
十一万石  
オウノ白川  
五万石  
下ノウ  
二万石  
ヒノ  
三万石  
三ノウセタ  
二万石  
三ノウニ川  
五万石

九鬼大隅守嘉隆  
多賀谷修理亮教正  
成田下總守長氏  
北條左門大夫氏勝  
長谷川丹後守秀一  
山岡對馬守道友  
古田織部正重勝  
佐々陸奥守成政  
河尻肥前守一元

新庄駿河守直頼  
三ノウニ川  
五万石

御家門  
若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

木下若狹守家俊  
木下中納言家定

御譜代  
塩川伯耆守国盛  
堀丹波守直寄  
小出播磨守秀政  
毛利伊勢守高政  
高木十郎左門一忠  
真田伊豆守信幸  
土方河内守雄久  
黒田勘解由好孝

同大ムラ  
二万九千石  
同西ノウ  
五万石  
カシノウ八マ  
四万石  
江ノウ手山  
五万石  
日向シラ  
三万石  
フミウ志  
十萬石  
セイシウカハナ  
十萬石  
シノウ島  
四万石

細川越中守忠興  
森右近大夫忠正  
高山右近長房  
宮部善祥坊法印  
真田安房守昌幸  
京極丹後守高智  
富田左近大夫信則  
松倉豊後守重政  
稻葉兵庫頭重道  
金森兵部少輔可重  
伊藤長門守至孝  
木下右門大夫延俊  
竹中丹後守重門  
小堀遠江守政一  
鍋嶋筑後守勝茂  
木村伊勢守重村  
有馬修理大夫晴信  
大村丹後守喜前  
伊東修理大夫祐度  
稻葉右京亮貞通  
建部丹波守政長  
秋月長門守種長  
東條下野守豊康  
一柳左近直家  
皆川山城守重村

ヒノ中マ  
十二万石  
ヒノ小ギ  
七万石  
オウノ白川  
七十八万石  
ヒノア  
三十万石  
同大ムラ  
二万九千石  
同西ノウ  
五万石  
カシノウ八マ  
四万石  
江ノウ手山  
五万石  
日向シラ  
三万石  
フミウ志  
十萬石  
セイシウカハナ  
十萬石  
シノウ島  
四万石

ヒノ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石

若ノウ高マ  
三万石  
バシレウヒキ  
二十万石



御目見衆

信之飯田 五万石	毛利河内守秀頼 二万二千石	相良左兵衛長兵衛 二万二千石
三万石	関長門守一政 二万石	五嶋大和守盛季 二万二千石
丹波守山 二万石	杉原伯耆守吉重 同神カ 一万石	分部右京亮政壽 二万石
オウレウノ末松 十二万石	直江山城守兼次 ノウレウノ末松 三万石	神部下總守越利 二万石
羽之郡モト 二万石	六郷兵庫頭政乘 オウレウノ末松 五万石	田丸中務大輔國明 二万石
下サ下サテ 三万石	水谷出羽守勝成 多々出石 五万石	岩城忠三良守 二万石
下ウテ大タラ 二万二千石	大田原備前守晴清 石シラツク 三万石	前野但馬守長明 二万石
フシ三府内 三万石	福原右馬之助信吉 ウレウノ末松 二万石	阪崎出羽守長房 二万石
江ノウ仁正寺 一万六千石	大関右衛門北資 同野ノキ 二万石	戸川肥後守達安 二万石
丹波山家 一万六千石	谷出羽守律友 同野ノキ 二万石	徳永石見守壽昌 二万石
オホコシカ 六万石	溝口伯耆守秀勝 和シラ角各 四万石	西尾豊後守光幸 二万石
多シウ三田 二万石	山崎左馬之助家盛 豊臣創 業ノ臣 四万石	戸澤右衛門亮政盛 二万石
和シラ高 二万七千石	本多因幡守俊政 同 二万石	蜂須賀大十郎 二万石
三シウ田原 二万石	伊木清兵衛忠治 同 二万石	稲田大炊之助 二万石
オキ府中 七万石	桑山泉穀院 同 二万石	青山新七 二万石
オレウ白川 五万石	隠岐判官忠吉 同 二万石	青山小助 二万石
五シウ 七万石	町野長門守吉治 同 二万石	河口久助 二万石
ハレシウ明石 三万石	荒尾但馬守忠元 同 二万石	長山半之丞 二万石
オウレウ白石 八万石	别所山城守義方 同 二万石	加治田集人 二万石
サシウ津所 八万石	片倉小十郎宗貞 同 二万石	日比野六大夫 二万石
ノウ占宛海 七万石	伊集院藏人極 賤ノ獄 先登 三振木カ 西ノ三士 二万石	松原内匠 二万石
松ノ尾 二万石	長甲斐守友成 同 二万石	石川兵助 二万石
一回領	松前若狹守盛廣 同 二万石	櫻井左吉 二万石
		伊木半吉 二万石



上レウ接フ 十二万石	井伊兵部少輔直政	カササオ多 十一万石	本多平八郎忠勝	上レウ高サ 十二万石	神原式部大輔康政	上レウ少メ 三万石	酒井河内守重忠	同相生 二万石	大久保相摸守忠隣	同ウス井 二万石	奥平美作守信昌	同マヤハシ 三万石	平岩主計頭親吉	同八幡 二万石	本多豊後守忠興	下ノ多尾 二万石	本多佐渡守正信	同セキ宿 四万石	保科彈正忠直正	上レウ山中 三万石	久松佐渡守義堯	相シ小忠 四万五千石	酒井左五郎康次	大久保七郎右衛門忠世	鳥居彦右衛門尉元忠	諏訪因幡守頼永	上レウ惣石 四万石	土岐山城守定正	同深和 一万石	阿部大藏大輔政家	下ノ相了 一万石	竹谷玄蕃頭家清	カツサト金 一万石	大久保彦左衛門尉忠教	上レウ安生 一万石	天野三郎兵衛康景	下ノ相多 一万石	安藤帶刀直次	同大河見 一万石	成瀬隼人正	カツ本庄 一万石	渡邊半藏守綱	下ノ細 一万石	豆山 一万石	大須賀五郎左衛門忠平	高力左近清長	内藤左馬之助正武	牧野右馬之助康成	菅沼小膳定則	小笠原共部大輔康成	岡部内膳正長盛	松平七郎信吉	松平周防守康重	松平出羽守康直	松平右衛門大夫康勝	松平因幡守康元	松平和泉守家乘	松平丹波守康長	松平主殿頭家忠	松平伊豆守信一	松平内膳正家重	菅沼新八郎定光	菅沼山城守定治	三浦監物重成	小笠原左衛門尉祐信	木曾平三郎義就	内藤豊前守信成
---------------	----------	---------------	---------	---------------	----------	--------------	---------	------------	----------	-------------	---------	--------------	---------	------------	---------	-------------	---------	-------------	---------	--------------	---------	---------------	---------	------------	-----------	---------	--------------	---------	------------	----------	-------------	---------	--------------	------------	--------------	----------	-------------	--------	-------------	-------	-------------	--------	------------	-----------	------------	--------	----------	----------	--------	-----------	---------	--------	---------	---------	-----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	-----------	---------	---------

武シ新ノ  
五千石



スミウ沼ッ  
五千石



早稲田大学図書館

011488583788